

秋田県議会議員 ともに、進もう。南秋田の元気と笑顔のために。

# 鈴木まみ

真実

県議会報告  
VOL.4



## 2月議会において令和2年度で4回目の総括審査に挑みました!!

### Q ウイズ・アフターコロナについて

県内でのコロナワクチン接種終了には約1年必要とし、国民に集団免疫が付くには3年かかるという。この3~4年という期間が、人口減少で悲鳴を上げている秋田県にとり、歴史的再生のきっかけと成り得る大事な期間としなければならないと考える。知事はいかがお考えか。

**知事** コロナにより社会全体が変わってきており、原状回復とはならない分野があると思う。デジタル化、新しい産業、エネルギー革命、食料の世界的な切迫等について、これらの状況を見極め、分析をしっかりと行いながら、スピーディに対応し、この3~4年の間に、様々な対策を講じていくことが必要である。

### Q 中山間地域における農業の展開について

知事が以前、「稲作が農業をダメにした」と話し驚いたことがあった。しかし、その後の取組みにより来年度で県内のメガ団地が50団地となり、平場における農業はこの5年で着実に成果を上げており、「秋田型ほ場整備」として全国に評価が高い。その担い手である若手農業者は、農業の継続と後輩の育成を視野に頑張っている。

一方、中山間地域では、少子高齢化が進行し、耕作放棄地も増加していることから、今後の対策が急務であるが、現状をどう分析しているか。中山間地域の方々を持続的に農業を営むことができるよう、重点的に取り組んで欲しい。それには、プロジェクトチームを設置し、プランを策定して「秋田型中山間地域農業(仮称)」を目指した新たな試みをすべきではないか。

**農林水産部長** 中山間地域は、ほ場整備率が66%と、平場の75%より1割程度低い。平成30年から農家負担がなく小規模でも実施可能なほ場整備が進んできている。

本県の農地は9割が水田であり、複合化の推進には、ほ場整備が不可欠で、今後4年間のほ場整備予定地区も中山間地域の方が多いことから、農地集積とほ場整備、複合化をセットで進めてまいりたい。ただし、面積が小さく、平場のようなメガ団地は物理的に整備できないことから、県域JA構想を見据え、全県の中山間地域である程度品目を絞り、オール秋田でロットを揃えて販売といった視点も必要と考えている。令和3年度内に策定する「第4期ふるさと秋田農林水産ビジョン」の中で検討する。

### 令和2年度県議会での主な活動実績

- 一般質問(1回) 12月議会(12.3)
- 総括審査(4回) ① 6月議会(7.3) ② 9月議会(10.5) ③ 10月議会(11.2) ④ 2月議会(R3.3.3)

### Q 「食料供給基地 あきた」を目指して

知事は「秋田は豊かな農地に恵まれ、食料供給基地としての優位性を有しているから強みを伸ばす」と発言している。本県の農業産出額は、伸び率は高いものの、実額では東北最下位で、5位の宮城県とは100億円程度の差があり、食料供給基地と銘打っていくには厳しいものがあると考えている。今後、県として、どのような手を打っていくのか。

**農林水産部長** 本県は食料自給率が190%で、野菜等も9割が県外に出荷されていることから、食料供給県であるものと認識している。

一方、農業産出額は東北最下位であるが、5位の宮城県との差が、平成26年に156億円だったものが、平成30年には96億円まで縮小している。(令和元年是実績で1億円まで縮小) 今後も、複合型生産構造への転換や、スマート農業等の先端技術の導入による生産性の向上、基盤となるほ場整備を進めていくという基本的な方向性は変えずに取り組んでいく。

**知事** 農家所得を考えると、主食である米を守りつつ、時流に合った他の作物を生産する複合経営への転換を進める必要がある。

### Q 男女共同参画と女性活躍推進について

ダイバーシティ(=多様性)の社会が求められている。女性は自ら持っている能力をその場で生かすという覚悟を持つことが大事であると考えている。今後も女性が能力を発揮できる環境作りを推進していただきたい。女性活躍推進において、女性管理職に期待するものはなにか。

**知事** 男女の区別なく、男性も女性も県民の気持ちを受け取ってしっかり仕事をしていくことが重要な要素と考える。

県民と自由民主党会派をコネク

# Link

リンク

2021.3 No.38

県民のために働く ~県民の命と暮らしを守る~

ごあいさつ

自由民主党会派 会長 鶴田 有司

日頃より秋田県議会自民党会派に対するご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年9月に、菅義偉内閣総理大臣が秋田県出身として初めて就任されたことは大きな喜びとともに県民の誇りであり、郷土愛を強く持っておられますので秋田をはじめ地方の課題解決が期待されています。

さて、新型コロナウイルス感染症対策は厳しい状況が続いており、コロナ禍を想定した「新しい生活様式」が求められています。秋田県では、感染拡大による地方回帰を見据え、在宅・遠隔勤務などの「リモートワーク」を活用した移住の推進を、全国紙への広告掲載や首都圏の約4千社を対象にしたアンケート調査が目玉として注目を集めています。

私たち自民党会派は、本県の地域特性を活かし、安全で安心な生活の実現を目指して、秋田県所属国会議員とともに力をあわせて県民のために働いて参りますので、さらなるご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



●春の八郎湯町



秋田県議会議員  
鈴木 真実

本当に早いもので、県議会議員に当選させていただいてから2年が経ちました。

1年目は、県議一期生という立場で、本会議、委員会、県内外の調査視察研修、様々な会議・イベントへの参加、県民の皆様からの要望対応などで、まずは何でもチャンス、何事も学びの場ととらえ、果敢に挑戦しました。

2年目は、新型コロナウイルス感染症の拡大という世界が経験したことのない危機的状況にあって右往左往したのも事実ではありますが、ウィズ・アフターコロナへの対応、人口減少問題解決のための若い女性の定住や女性活躍推進、2050脱炭素社会の実現を目指した政策など県の重要課題について積極的に提言してきました。

令和3年度は、一期4年の折り返しの年になります。最初に誓ったスローガン「ともに進もう。南秋田の元気と笑顔のために。」を皆様に実感していただいているでしょうか。「きめ細かい女性の視点を大切に、男性も女性も、子どもも高齢者も、一人ひとりが活躍できる秋田」のために、多くの反省も踏まえ、改めて原点に戻り、さらに活動を充実させながら謙虚に頑張りますので、引き続きご指導をよろしくお願いいたします。

皆様からの、意見、要望、陳情、要請などは  
自由民主党秋田県南秋田郡第一支部 支部長 鈴木真実

〒018-1513 南秋田郡井川町黒坪字小泉36

TEL・FAX 018-874-2112 E-mail : suzuki-mami@cd.wakwak.com

県民と自由民主党  
会派をコネク

Link リンク

発行/令和2年3月10日  
ご質問、ご意見をお聞かせください。

編集/秋田県議会自由民主党会派 政務調査会  
〒010-8570 秋田市山王四丁目一番一号【県議会内】  
電話 018-860-2040 FAX 860-2102

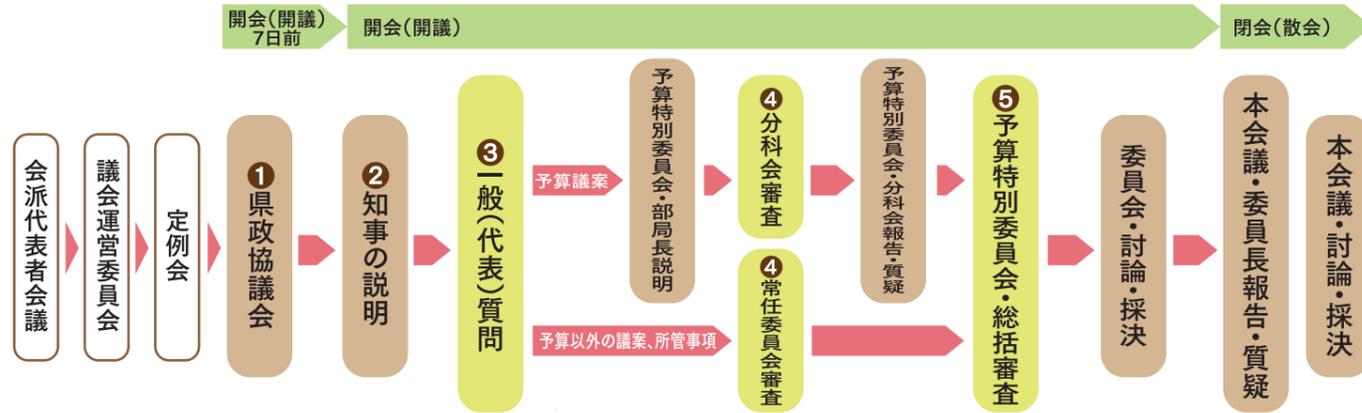
# 自民党は、憲法改正、コロナ対策、地方創生などの課題に力強く取り組んでいきます!

県議会の流れと自民党会派の活動をご紹介します

## 議会の流れ

議会は「秋田県議会会議規則」に基づいて進められます。以下、主に令和2年12月議会に沿って議会の流れをご紹介します。

### 秋田県議会における議案や所管事項等の審査の全体的な流れ



## 会派代表者会議

議長が招集し、正副議長、議会運営委員長、及び各会派の代表者の出席のもと、議会活動、議会運営に関する事及び議員に関する基本的な事項について協議や調整が行われます。



## 議会運営委員会

定例会の期間における議会の日程など議会の運営に関する具体的な事項については、11名の議員(うち自民7名)で構成する議会運営委員会で審査が行われます。本委員会は、本会議等の審査を円滑に行うため、議会中にも適宜開催されます。



## 定例会

### 令和2年の定例会

- 第1回 令和2年2月14日から7月7日まで。この間に2月議会(当初予算審査)、6月議会が開かれます。
- 第2回 令和2年9月11日から12月22日まで。この間に9月議会、10月議会(前年度決算審査)、12月議会が開かれます。(記載以外に議会が招集されることもあります。)

令和2年の定例会は2回に分けて行われました。県議会選挙が行われた令和元々は、3回に分けて行われました。このほか、臨時会が開催されることもあります。

## 県政協議会 ①

議会開会の1週間前に全会派に対し、県当局から提案する議案等の説明があります。自民党会派は単独で開かれ、知事から説明が行われます。



## 本会議 ②

本会議場において開催され、議長が開会を宣告します。はじめに、知事から諸般の報告と提出議案に関する説明が行われます。



議長は提出議案をそれぞれ所管する委員会に付託しますが、予算議案については、予算特別委員会への付託が諮られ、決定されます。

## 予算特別委員会

本会議終了後、全議員をもって構成される予算特別委員会が開催されます。通常、初日は日程協議のみで、執行部の答弁等は行われません。

## 常任委員会

予算特別委員会終了後、全議員がそれぞれ所属する6つの常任委員会(※)に分かれて開催されます。初日は、当該議会を通しての日程協議が行われます。

- ※ 総務企画 福祉環境 農林水産  
産業観光 建設 教育公安

一般(代表)質問

## ③ 一般(代表)質問

会派ごとに割り当てられた質問者数に応じて、議員が演壇に立ち、日頃感じている県政課題等について当局の考え方を質します。当初予算を審議する2月議会では、一般質問に先立って交渉会派(現在は第1会派の自民党会派と第2会派のみらい会派)による「代表質問」が行われます。一般質問の質問者には、質問は30分、再質問は5分の時間(いずれも答弁時間は含まず)が与えられます。代表質問の質問時間は45分です。12月議会では、11名(うち自民6名)が一般質問を行いました。

会派を代表して(代表質問)



## 予算特別委員会

各部局長、教育長及び警察本部長からそれぞれが所管する予算議案に関する説明を受けた後、委員長から常任委員会ごとの「分科会」に分かれて審査をする旨宣言されます。



## 常任委員会・分科会 ④

予算特別委員会散会後に開会され、所管部局ごとに審議を行います。はじめに予算議案以外の議案について、教育長、警察本部長を含む関係部局長から内容説明が行われます。続いて、予算特別委員会の「分科会」として予算議案の審査を行い、その後、予算以外の議案や所管する全ての案件について、「常任委員会」として審査を行います。質問に対する答弁は、分科会も含め、所管部局の課長以上の職員が務めます。



## 予算特別委員会

予算議案に関する分科会での審査の経過について分科会長から報告が行われた後、分科会長に対する質疑が行われます。これによって、全議員で審査に関する情報を共有します。



→ その後、自民党では会派総会が開かれ、各委員長から審査の要点が報告された後、総括審査に臨む姿勢について議論が交わされます。

→ 総括審査の質問時間については、あらかじめ開かれる議会運営委員会で、会派所属の議員数などに応じた会派ごとの割り当て時間が決定されます。令和2年12月議会の質問時間は183分(うち自民76分)でした。

→ 会派総会では、割り当て時間や各議員の意向を尊重しつつ、内容が重複しないよう配慮するなど、質問事項や質問者を調整し、総括審査に臨みます。



## 予算特別委員会(総括審査) ⑤

常任委員会・分科会の審査を踏まえ、改めて知事や教育長、県警本部長及び関係部局長に質したいことなどが取り上げられます。質問者は知事に對する質問者席で質問し、答弁は知事等が着座のまま務めます。



→ 総括審査の後、自民党では会派総会が行われ、予算特別委員会や常任委員会の討論・採決に臨む姿勢について議論が交わされます。

## 予算特別委員会

委員長が審査の終結を宣告し、付託議案(予算議案)に関する討論・採決を行います。

## 常任委員会

予算特別委員会に引き続いて開催され、委員長の審査最終の宣告の後、付託議案(予算以外の議案)に関する討論採決が行われます。

## 本会議(最終日)

予算特別委員会委員長から予算議案に関する審査の経過と結果、常任委員長から予算以外の議案等に関する審査の経過と結果が報告され各委員長に対する質疑が行われます。これによって、全議員が情報を共有することになります。

その後一旦休憩を挟みます。この間、自民党では会派総会が開かれ、討論・採決に臨む姿勢について協議が行われます。そして、本会議が再開され、討論・採決が行われた後、議長が開会を宣告します。



## 企業の振興と人材の確保に関する調査特別委員会

本県の喫緊の課題について、本会議の議決により特別委員会が設置されます。直近では、人口減少対策をさらに充実・強化していく必要があるとの問題意識のもとに「企業の振興と人材の確保に関する調査特別委員会」が、令和元年10月8日に委員10名(うち自民6名)で設置されました。特別委員会では、県内調査や10回の委員間協議を経た上で、企業の振興について12項目、人材育成について16項目にわたる県当局への提言をまとめ、令和2年9月議会本会議場において委員長から報告がなされました。



## 議員定数等検討会議

令和2年10月に行われる国勢調査の結果を見通しながら、議員定数や選挙区等について検討する会議が、令和2年6月22日の本会議の議決により設置されました。この検討会議は、11名の議員(うち自民7名)で構成され、令和3年6月に公表される見込みの国勢調査の速報値を踏まえて一定の結論をまとめることを目指して議論を進めています。



## 議会以外の主な活動等

### 菅義偉内閣総理大臣への祝意等



- 若手議員から期待を込めて
- 自民県連役員 菅新総裁に祝意
- 故郷・秋田への思いを...

### 県民の声を受け止め県政に反映させます



- 医療現場での要望を聞いて(看護連盟)
- 若手事業者の夢を聞いて(産業観光委員会)
- 秋田空港のコロナ対策を調査(建設委員会)

### 自民党としての知事要望(要望事項)

- 移住・定住対策に取り組む市町村への支援
- 子どもの貧困を防ぐための具体的支援策
- 再造林率向上のための予算確保
- 地域公共交通維持確保のためのバス等への支援
- 住宅リフォーム支援事業の対象拡大検討
- コロナ感染対策に係る保育所等への慰労金支給

### 青年局、女性局の街頭活動

全県をくまなく回り、憲法改正、地方創生、女性活躍社会の実現を強く訴えました。地元出身の国会議員、県・市町村議員も応援に駆けつけてくれました。沿道から手を振り、励ましていただいた多くの方々、ありがとうございました。



- 金田勝年代議士
- 富樫博之代議士
- 御法川信英代議士